

令和3年度 学校関係者評価委員会による提言

学校関係者評価アンケート（児童・保護者・地域）結果により分析・改善に向けての提言

【学校関係者評価委員会】◎委員長

- ◎稲田 正克：地域、元目黒区立小学校長
- 菱刈 晃夫：学識経験者、国土舘大学教授
- 二川 早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会副理事長、
元世田谷区立小学校PTA連合協議会長
- 松原 信行：前同窓会会長、元保護者、元PTA会長
- 石綿 陽子：元保護者、元PTA役員
- 吉良 雅彦：元保護者、元PTA会長
- 毛受 直子：新BOP事務局長
- 大賀 幸子：PTA副会長

本委員会は学校関係者評価アンケート結果に基づき、以下の点で桜丘小学校へ提言します。

<学校教育目標についての分析・提言>

- 1 よく考える子 ものごとをよく考え、向上しようとする子ども に関連した項目

【学習指導】

- 2 豊かな心をもった子 思いやりのあるやさしい子ども に関連した項目

【生活指導・あいさつ、自分や友達を大切にする等】

- 3 健康な子<外遊び> 体を丈夫にし明るい心をもつ子ども に関連した項目

<各項目についての分析・提言>

- 4 学校行事について
- 5 キャリア教育について
- 6 教職員について
- 7 さくらの学び舎について
- 8 情報提供について
- 9 学校運営について
- 10 地域との連携について
- 11 安全面について
- 12 終わりに

《アンケート実施日》

- ① 児童 令和3年11月24日
- ② 保護者 令和3年11月17日～29日
- ③ 地域 令和3年11月9日～29日

《実施・回収の方法・回収率》

- ① 児童 教室で実施・回収（全児童）
- ② 保護者 各家庭で実施・特製封筒に入れ、担任を通じ回収 回収率96.60%
- ③ 地域 学校協議会の方々へ郵送し、郵送で回収 回収率60.34%

1 教育目標 よく考える子 ものごとをよく考え、向上しようとする子どもに関連した項目

【学習指導】

<保護者>

1 学習指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、子どもが考えることや、課題解決することを大切に授業を行っている。	27	58	85	6	1	7
(2)本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	23	50	73	11	1	14
(3)本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表したりする機会がある。	33	55	88	5	1	5
(4)本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	28	51	79	11	2	8

<児童>

1 学習指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1)先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友だちと考えたりする時間を授業内でとっている	60	32	93	5	1	2
(2)先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	60	27	86	6	1	7
(3)授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。	64	27	91	7	1	1
(4)先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	62	29	91	6	2	2

<学校関係者評価委員による提言>

(1)は、保護者・児童とも肯定的評価が高い。「自ら課題を解決する力」は、これからの社会に求められるものであるため、今後も授業の中で課題解決する学習の展開をさらに図ってほしい。

保護者(2)の肯定的評価が73%で、分からないという回答が多い。保護者に授業の様子が伝わるよう、来年度は学校公開を行ったり、お便り等を通して授業の様子を発信する必要がある。また、先生方に授業の工夫（板書やプリント等）を引き続き行ってほしい。

(4)の映像やタブレットについては実践が進み、児童・保護者とも昨年度に比べ高い評価になっている。今後も、ただ使うだけでなく、有効な活用の実践を積み重ねてほしい。(4)について保護者の評価は、昨年度より上昇しているがまだ、80%を下回っているため、今後は、学校と家庭での連携した活用や、学校公開等での工夫が必要であると考えます。また、併せてSNS等のモラル面での指導の充実が望まれる。

2 豊かな心をもった子 思いやりのあるやさしい子ども に関連した項目

<保護者>

2 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	28	56	84	7	1	7
(2)本校は、教員が指導したルールについて子どもが理解している。	27	58	84	8	2	5
1 2 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(1)私の子どもは、よくあいさつをしている。	34	49	83	11	2	2
(2)私も子どもたちに、よくあいさつをしている。	40	52	92	5	1	1
(3)私の子どもは、自分の良さが分かり、自分のことが好きである。	34	50	84	8	1	5
(4)私の子どもは、友だちを大切にしている。	50	44	94	2	0	2
(5)私の子どもは、よく外遊びや運動をしている。	33	38	71	22	4	1
(6)私は、子どもに「早寝、早起き、朝ご飯」を努めさせている	44	44	87	10	2	0
(7)私は、子どもに安全に気を付けて生活をさせている。 (交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	58	39	97	1	0	0

(8)私は、ボランティア(校外学習や図工、家庭科他の教育ボランティア、図書ボランティア)として、学校の教育活動に協力していきたい。	17	47	64	23	5	7
(9)私は、子どもと学校のことを話している。	49	43	92	5	1	0

<児 童>

2 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1)わたしは、学校のきまりを守って行動している。	56	35	91	5	1	3
(2)学校のきまりを守らない児童に、先生は注意している。	70	21	91	4	1	3
(3)先生に注意されたことは、理解できる。	69	24	93	4	2	1
7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(1)わたしは、学校の中で、先生や主事さんなどにすすんであいさつをしている。	53	33	86	10	2	2
(2)わたしは、学校の外で知っている人にすすんであいさつをしている。	48	32	80	12	4	4
(3)わたしは、自分のよいところが分かり、自分のことが好きである。	35	31	66	14	9	12
(4)わたしは、友だちを大切にしている。	73	21	94	2	1	3
(5)わたしは、外で元気よく遊んでいる。	68	20	88	6	3	2
(6)わたしは、「早寝、早起き、朝ご飯」ができています。	43	31	74	16	8	3
(7)わたしは、安全に気を付けて生活している。(交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	76	21	97	1	1	1
(8)わたしは、花の子交流活動が楽しい。	67	20	88	7	4	2
(9)わたしは、家で学校のことを話している。	54	27	81	10	6	3

<地 域>

1 生活指導について	A	B	A+B	C	D	E
(1)通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。社会のルールをまもっている。	34	57	91	0	0	9
7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(1)子どもたちは、よくあいさつをしている。	40	46	86	6	3	6
(2)私も子どもたちに、よくあいさつをしている。	34	49	83	9	3	6

<学校関係者評価委員による提言>

児童2-(1)(2)(3)生活面で指導されたことがよく分かり、決まりを守ろうとする児童の意識が高いことが分かる。

あいさつの項目では、保護者の評価と、児童の評価にずれがある。今後もあいさつ運動の継続を進めてほしい。

児童7-(3)は、本校のキャッチフレーズ『見つけよう「大好き」、育てよう「大好き」』として、自己肯定感を育ててきたことについて新設された評価項目である。児童66%、保護者84%と、児童と保護者の評価にずれがある。その解決のために、保護者と教員が子どもたちを認め、誉め、具体的に評価する場面を数多く設け、それらのことを継続して伝えていくことが大切である。また、本評価項目の文章についても「自分のよさ」「自分が好き」の2つの内容が含まれていて、児童は評価に悩んだものと考えられる。

3 教育目標 健康な子 体を丈夫にし明るい心をもつ子ども に関連した項目

<保護者>

12 学校独自項目<外遊び>	A	B	A+B	C	D	E
(5)私の子どもは、よく外遊びや運動をしている。	33	38	71	22	4	1
(6)私は、子どもに「早寝、早起き、朝ご飯」を努めさせている	44	44	87	10	2	0

<児 童>

7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(5)わたしは、外で元気よく遊んでいる。	68	20	88	6	3	2
(6)わたしは、「早寝、早起き、朝ご飯」ができています。	43	31	74	16	8	3

<学校関係者評価委員による提言>

外遊びに関しては、学年ごとに見ると、学年が上がるにつれて評価が下がっている。このことは、学年が進むにつれて塾等の習い事が増えることと、コロナ禍の影響もあり、外遊びの機会が減ってきているためと考えられる。学校では、校庭で遊ぶ機会の確保、継続して運動に取り組む機会等を設定し、子どもの体力向上に努めていただきたい。「よく遊び、よく学ぶ」昔から言われている子どもの生活の合言葉である。体を動かすことの良さを再認識してほしい。

「早寝、早起き、朝ご飯」は、学校と家庭が一体となって共に取り組むことが大切である。

4 学校行事について

<保護者>

3 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会について）	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校行事は、子どもにとって楽しい。	63	31	95	3	1	1
(2)学校行事は、子どもにとって達成感がある。	64	30	94	4	1	1
(3)本校は、子どもの意欲を大切にしている。	48	41	89	5	1	4

<児 童>

3 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会について）	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校行事は、楽しい。	74	19	92	5	2	1
(2)学校行事は、達成感がある。	68	20	88	6	3	3
(3)先生は、私たちのやる気を大切にしている。	64	25	89	4	2	6

<地 域>

2 学校行事（運動会、花の子作品展、花の子発表会など）について	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校行事の内容は、充実している。	40	49	89	0	0	11
(2)事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	46	40	86	0	0	14

<学校関係者評価委員による提言>

学校行事については、コロナ禍に配慮しながら行われおり、子どもたちは達成感を十分感じている。今後も状況に合わせて工夫しながら計画してほしい。

5 キャリア教育について

<保護者>

4 キャリア教育について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	24	49	72	11	2	14
(2)本校では、子どもの生き方や将来のことについて考える授業がある。	16	44	61	15	3	20

<児 童>

4 キャリア教育について	A	B	A+B	C	D	E
(1)自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	43	35	77	9	5	9

(2)目標をもち、その実現に向けて努力している。	54	32	86	8	1	5
(3)桜丘中学校に関する情報が提供されている。	27	30	57	16	6	21

<学校関係者評価委員による提言>

キャリア教育は年々実施されているがキャリア教育の内容が理解されないので、評価が厳しい。今後キャリア教育の取り組みが保護者に分かるように伝え方の工夫をしてほしい。子どもたちには、キャリアについて、とりわけキャリア教育とは何か理解できるような授業内容について改善の余地がある。

また、6年間通して自分の目標や振り返りを記録し、その積み重ねによって自分の成長を実感することができるキャリアパスポートも有効に活用し、更なるキャリア教育の推進を図ってほしい。

児童4-(3)について学年別に見ると、6年生の肯定的評価が83%と高く、部活動体験や、中学校の教員による授業など、具体的な取り組みが行われている結果である。これらの今年度の取り組みが結びついていると考えられるので継続して行ってほしい。また、学び舎での活動が、進学に向けての期待をもたせる機会にもなっていると考える。更に、活動内容の充実を図ることが望まれる。

6 教職員について

<保護者>

5 教職員について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、ていねいに指導している。	35	51	86	7	2	5
(2)本校は、子どものことを相談しやすい。	35	46	82	10	3	4

<児童>

5 先生のことについて	A	B	A+B	C	D	E
(1)先生たちは、ていねいに指導してくれる。	71	23	94	4	1	1
(2)先生たちに相談できる。	58	25	83	8	5	4

<学校関係者評価委員による提言>

教職員については、概ね高評価となっている。今後も研修会を重ね、丁寧な指導を心がけ、指導力の向上を継続してほしい。

児童が、生活や友人関係で困った時に、お話の部屋のスクールカウンセラーを活用し、相談しやすい環境をこれからも作ってほしい。なかなか自分から相談できない子へのアプローチの仕方を探り、実践に結びつけることが課題として考えられる。

7 さくらの学び舎について

<保護者>

6 全般について	A	B	A+B	C	D	E
(3)本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	19	44	63	17	2	17
7 学校からの情報について	A	B	A+B	C	D	E
(2)「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	15	40	55	25	4	15

<児童>

4 キャリア教育について	A	B	A+B	C	D	E
(3)桜丘中学校に関する情報が提供されている。	27	30	57	16	6	21

6 学校全体のことについて	A	B	A+B	C	D	E
(5)桜丘中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。 さくらの学び舎の桜丘中学校との交流がある。	25	30	56	15	12	18

<学校関係者評価委員による提言>

学校は、学び舎の活動について努力を重ねていることがうかがえる。今後、近隣の学び舎（桜丘幼稚園、笹原小、桜丘中）と連携をして、学び舎の取り組みの充実を継続してほしい。

8 情報提供について

<保護者>

7 学校からの情報提供について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、様々な便りや通知などで、保護者に情報を提供している。	44	49	94	4	1	1
(2)「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	15	40	55	25	4	15
(3)本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	30	55	85	9	1	3
(4)本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	48	46	94	4	0	1

<地 域>

3 学校からの情報提供について	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校からのお知らせ(学校だより) などにより、学校の様子がよくわかる。	43	54	97	3	0	0
(2)「さくらの学び舎」の活動について情報が提供されている。	40	40	80	17	0	3
(3)学校公開や道徳地区公開講座などで、学校の様子がよくわかる。	29	40	69	6	6	20
(4)学校ホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子がわかる情報が掲載されている。	26	51	77	6	0	17
7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(4)私は、桜丘小学校の教育活動に協力していきたい。	51	49	100	0	0	0

<学校関係者評価委員による提言>

コロナ禍で学校へ行くことが少ない状況の中でも、高評価が得られているのは、毎月配布される学校便りやホームページ等からの情報提供がしっかりできているからと考える。

地域の方へのホームページの認知度が上がるよう、伝え方の工夫をお願いしたい。

地域7-(4)は、昨年度に引き続き100%という評価であることから、地域の方は、学校、そして、子どもたちを大切に思ってくれていることが分かる。今後、コロナが収束して地域の方に運動会等の学校行事や、ゲストティーチャーとして招く機会も多く取り入れていただきたい。

9 学校運営について

<保護者>

6 全般について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	49	43	91	5	1	2
(4)本校の教育活動に満足している。	26	58	84	10	2	3
8 学校運営について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	29	59	88	6	1	4

(2)校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	30	54	84	6	1	8
9 家庭と学校の連携について	A	B	A+B	C	D	E
(3)私は、今年度の学校の重点目標を理解している。	14	46	60	24	6	9

<児 童>

6 学校全体のことについて	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校生活が楽しい	69	21	90	6	3	1

<地 域>

4 学校運営について	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校の重点目標が明確である。	40	51	91	3	0	3
(2)地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応をしている。	37	37	74	14	0	11

<学校関係者評価委員による提言>

保護者や地域への重点目標の周知について、今後も学校便りや、保護者会、学校要覧等を通して、高める工夫をしてほしい。これからも学校長を中心とした学校運営と、教育活動の更なる充実を望む。

10 地域との連携について

<保護者>

9 家庭と学校の連携について	A	B	A+B	C	D	E
(1)私は学校公開に進んで参加している	38	46	83	12	3	1
(2)私は学校行事、PTA活動や地域主催の行事などにすすんで協力している。	20	44	64	26	8	2
(3)私は、今年度の学校の重点目標を理解している。	14	46	60	24	6	9
10 地域との連携について	A	B	A+B	C	D	E
(1)本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	21	49	70	13	1	15
(2)本校は、地域の活動などに協力がある。	18	49	67	12	0	20
(3)本校は、地域に情報提供している。	19	50	69	9	1	20

<地 域>

5 地域との連携について	A	B	A+B	C	D	E
(1)地域の人や施設を教育活動に活かしている。	49	37	86	6	3	6
(2)学校協議会や合同学校協議会がよく役割を果たしている。	29	40	69	9	3	20
(3)学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	31	40	71	11	0	17

<学校関係者評価委員による提言>

コロナ禍であるので、地域の方が学校を訪れる機会が大変少なくなっている。学校便りや、ホームページを通じて今後も地域に充実した内容の周知を図っていただきたい。

保護者9-(2)は、コロナ禍でPTA活動や地域主催の行事が制限されたため、進んで協力したい気持ちが回答に表れていないと考える。コロナ禍ではあるが、学校として必要な時には、可能な範囲で地域や保護者の力を借りて、学校の教育活動に活かしてほしい。

11 安全面について

<保護者>

11 安全性について	A	B	A+B	C	D	E
------------	---	---	-----	---	---	---

(1)学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	37	54	91	3	1	3
(2)本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	45	50	95	2	0	2
(3)本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	39	51	90	5	1	3

<児 童>

7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(7)わたしは、安全に気を付けて生活している。(交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	76	21	97	1	1	1

<地 域>

6 学校の安全性について	A	B	A+B	C	D	E
(1)学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	57	43	100	0	0	0
(2)学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	51	40	91	9	0	0
7 学校独自項目	A	B	A+B	C	D	E
(3)子どもたちは、安全に気を付けて生活をしている。 (交通ルールを守る、危ないことをしないなど)	26	63	89	3	0	9

<学校関係者評価委員による提言>

全般的に高い評価である。今後も危険を察知し、自己判断ができる子を育てていかなければいけない。安全に気を付けて生活することは、子どもだけではなく、保護者にも強く伝えていくことが必要である。そのためには、警察や外部人材の活用が求められる。安全教育の徹底を引き続き図ってほしい。併せて、SNSに関する指導を保護者・児童共に充実させていただきたい。スマホやタブレットを児童がどのように活用しているのか、その実態の把握をすることが、今後の安全教育の徹底に繋がると考える。

12 終わりに

保護者の回収率も高く、学校への関心の高さが伝わってきます。コロナ禍においても、学校行事、授業等に様々な工夫がなされていることがよく分かりました。これらのことが、保護者、地域の方にしっかりと伝わっていくように今後も努力していただきたいと思います。

最後になりましたが、コロナ感染症対策など大変な中、教育活動や学校行事を通して、平松有理子校長先生をはじめ、教職員の皆様の熱意を感じております。日々子どもたちを見守り、励まし、丁寧なご指導にご尽力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。